

【ひだかプラン】「令和2年度日高管内教育推進の重点」の具現化

組織的なカリキュラム・マネジメントの強化を図る校内研修の充実

日高教育局では、各学校の育成を目指す資質・能力の実現に向けた全教職員による組織的なカリキュラム・マネジメントの強化のため、新ひだか町立高静小学校の学校教育指導訪問の際、お伺いした内容を基にし、本資料を作成しました。

各学校の校内研修等において本資料を活用し、各教科等及び各学年が相互に関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにするとともに、見直しを行った学校改善プランにおいて、カリキュラム・マネジメントの確立を図ってください。

【新ひだか町立高静小学校】
組織的なカリキュラム・マネジメントの強化

取組の内容

昨年度の成果と課題を踏まえ、今年度は、研究主題を「自分の思いや考えを伝えて伝え、学びを深めることができる子どもの育成～思いや考えを交流し、再考する活動を通して～」とし、本校が
目指す資質・能力の育成に取り組んでいる。

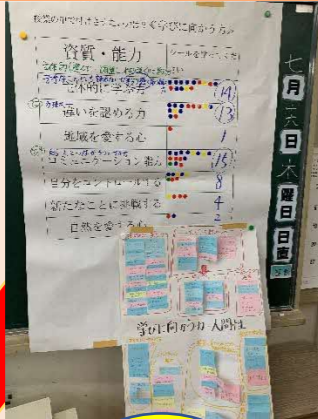
本校が育成を目指す資質・能力をより具体的に各教科等の単元や題材などの学習内容と関連付けるとともに、校内研修による組織的なカリキュラム・マネジメントの確立を図り、学校改善プランを見直すなど、全教職員で教育課程の実施・評価・改善を行っている。



学びに向かう力・人間性

ポイント①
育成を目指す資質・能力の最重点化を図る

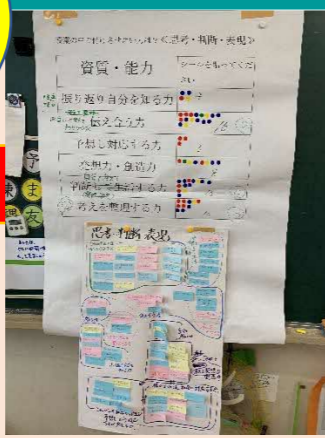
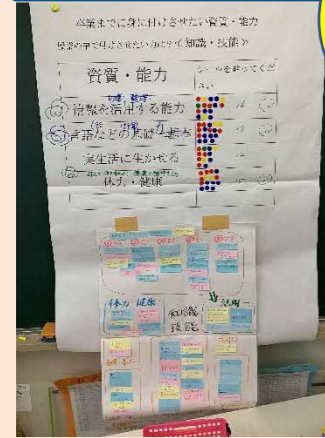
育成を目指す資質・能力について、PDCAサイクルを確立するとともに、進捗状況を踏まえて、**最重点化**を図ることが大切です。



思考力・判断力・表現力

高静小の
育成を目指す
資質・能力

知識・技能



8月に改定した学校要覧

基本理念	すべての子供たちの幸せのために ★それは子供のためにあるか、そこに教育はあるか ★働きがいがあるか、働きやすいか
学校教育目標	よく考え進んで学ぶ子 明るく心の豊かな子 じょうぶでたくましい子
子供像(資質・能力)の重点	○よく考え進んで学ぶ子 保70% 児72% 教72% ○明るく心の豊かな子 保86% 児74% 教74% ○じょうぶでたくましい子 保87% 児82% 教82%
学校像の重点	○学校・教師の取組5項目 保99% 教91%
教師像の重点	○学校・教師の取組5項目 保99% 教91%
道徳教育の重点	○学校・教師の取組5項目 保99% 教91%

令和2年度 新ひだか町立高静小学校 学校改善プラン (後期10~3月)

基本理念	すべての子供たちの幸せのために ★それは子供のためにあるか、そこに教育はあるか ★働きがいがあるか、働きやすいか
学校教育目標	よく考え進んで学ぶ子 明るく心の豊かな子 じょうぶでたくましい子
子供像(資質・能力)の重点	○よく考え進んで学ぶ子 保70% 児72% 教72% ○明るく心の豊かな子 保86% 児74% 教74% ○じょうぶでたくましい子 保87% 児82% 教82%
学校像の重点	○学校・教師の取組5項目 保99% 教91%
教師像の重点	○学校・教師の取組5項目 保99% 教91%
道徳教育の重点	○学校・教師の取組5項目 保99% 教91%

実態・課題	確かな学力の育成プラン	健やかな心身の育成プラン	組織・働き方の改善プラン	家庭・地域との連携推進プラン
数値目標	○『R3全国学力調査』平均正答率(国語61%、算数59%) ○『R1』『CRT』平均正答率(2年国67%算71%、3年国75%算71%、4年国49%算58%、5年国62%算63%、6年国61%算54%) ○『R3全国学力調査』平均正答率65%以上 ○『各単元末テスト』平均正答率85%以上 ○『CRT検査』平均正答率70%以上 ○『改善の方策①~⑥』職員自己評価達成率75%以上	○『R2.6月』『いじめアンケート』の「いじめはしてはいけない」回答率87% ○『R1』『新体力テスト』 ・「全身持久力」「疾走能力」「柔軟性」に課題あり ○『いじめアンケート』の「いじめはしてはいけない」回答率100% ○『新体力テスト』苦手3種目の向上 ○『改善の方策⑦~⑩』職員自己評価達成率75%以上	○『R2.7月』『働き方ガイドライン』(月残業45時間以内)達成率61% ○『R1』『新体力テスト』 ・「全身持久力」「疾走能力」「柔軟性」に課題あり ○『働き方改革ガイドライン』(月残業45時間、年間360時間以内)100% ○『定時退勤日』の実施(月2回以上) ○『改善の方策⑪~⑭』職員自己評価達成率75%以上	○『R2.7月』『家庭学習目標時間』(学年×10分以上)達成率52% ○コミュニティスクール開始に向けた準備(学校運営協議会) ○『家庭学習目標時間』実施率80%以上(学年×10分以上) ○今年度中に学校運営協議会開始 ○『改善の方策⑮~⑲』職員自己評価達成率75%以上
改善の方策	①目標、観点、評価を明確にした授業作り ・通知表の改善、ふりかえり6観点 ②「資質・能力」の教科横断的指導 ・日常授業への落とし込み ③「思考・表現力」を重点とした授業作り ・交流ツール・考えたい課題・対話的学び ④基礎・基本の定着指導(語句読書) ・全教育活動における重点指導 ⑤個に応じた支援の充実 ・放課後等補充学習・ユニバーサルデザイン ⑥ICT活用、プログラミング教育の推進 ・PC等を活用した授業等・推進教師 ⑦「高静小の学習ルール」の徹底 ・年度初め全体確認、ぶれない指導 ⑧各種調査数値目標設定と分析後重点指導 ・授業改善の具体化 ⑨各職員のオリジナルプラン ※授業時数の確保(冬休み短縮等)	⑩すべての子供が安心できる居場所作り ・共に遊ぶ・コロナ対策、「ほっと」活用 ⑪安全・清潔で過ごしやすい環境作り ・安全点検・清掃指導充実・体力山、玄關除菌 ⑫自他の命を大切にする指導充実 ・交通安全ミニ集会継続・道徳重点・食育 ⑬気持ちの良い挨拶、言葉遣いの指導徹底 ・教職員率先垂範・児童会の取組 ⑭「違いを認めはじめは許さない」指導徹底 ・いじめ防止、「多様性」指導重点目標 ⑮道徳科授業の充実 ・別様の活用・たがいに見合う ⑯道徳指導、特別支援教育の連携体制充実 ・組織的対応、各種計画のPDCAサイクル、道徳指導調整 ⑰体力向上1校1実践の日常的取組 ・若手3種目を専科中心に組織的対応 ⑱各職員のオリジナルプラン ※コロナウイルス感染防止の取組基本方針	⑲編連相、情報共有、生徒指導組織対応徹底 ・ヒヤリハット・生徒指導対応整理・職員会議システム見直し ⑳できることは全力、できないことは他力 ・職員多様性、お互い様精神・困り感の共有化と組織対応 ㉑安易な前年度踏襲をせず、挑戦、精選 ・子供の心にかける指導、道徳的価値観、言葉遣い見直し ㉒相互声掛けによる居心地の良い職場作り ・自分が学校、組織のために何ができるか、あいさつ ㉓メンター研修の充実 ・3つのメンター研修・育成計画 ㉔キャリアステージに応じた研修推進 ・自向上学習、授業で活かせるスキル、研修成果の活用 ㉕教育活動向上につながる学校評価の工夫 ・グランドデザインとのリンク・年2回 ⑳各職員のオリジナルプラン	㉖関係機関、学校運営協議会との連携強化 ・学校運営協議会年度内設立 ㉗学校・学級単位、HPIによる積極的発信 ・相手意識、新HP・さくらメール・基本情報見直し ㉘地域と連携した学習活動推進 ・地域人材、教材の活用 ㉙開かれた学校・学級、積極的公開 ・全員授業公開・分参観日・管理職授業観察 ㉚学校と家庭の学びをつなぐ家庭学習充実 ・家庭学習のしおり、強化週刊・賞と量の具体的な手立て ㉛幼稚園、保育所、中学校との連携強化 ・スタートカリキュラム作成・授業参観交流 ㉜各職員のオリジナルプラン

ポイント②
課題を明確にした校内研修の実施

長期の臨時休業中の校内研修において、ワークショップ型の研修を行い、授業の場面を想定した交流ツール等の活用について理解を深めています。

ポイント③
中間評価を踏まえた学校改善プランの見直し

学校評価を年2回実施し、前期の成果と課題を踏まえ、学校改善プランを見直すことが大切です。また、各校務分掌が連携して、業務改善を図ることができるよう、改善する内容を総合的な枠組みで整理し、担当部を明確にする必要があります。

一層の充実に向けて

学校評価をカリキュラム・マネジメントと関連付けるために、教育課程・学習指導に係る評価はもとより、人的な体制の確保の状況など、教育課程を効果的に実施できるよう、必要な評価項目・指標等の精選や評価時期を工夫することが大切です。また、全教員で次年度以降の教育課程の編成の参考資料とするため、年間時数配当表に実施状況や改善点を書き込むなど、評価方法を工夫する必要があります。

平成30・31年度小(中)学校教育課程編成の手引(北海道教育庁学校教育局義務教育課)